

2011 年度実施 六甲台一時預かり保育ニーズ調査結果

調査対象者：小学生以下の子どもをもつ神戸大学構成員（非常勤職員・学生含む）

調査期間：2011年6月27日から7月11日

回答者数：175人

回答者の属性

図1 回答者の性別

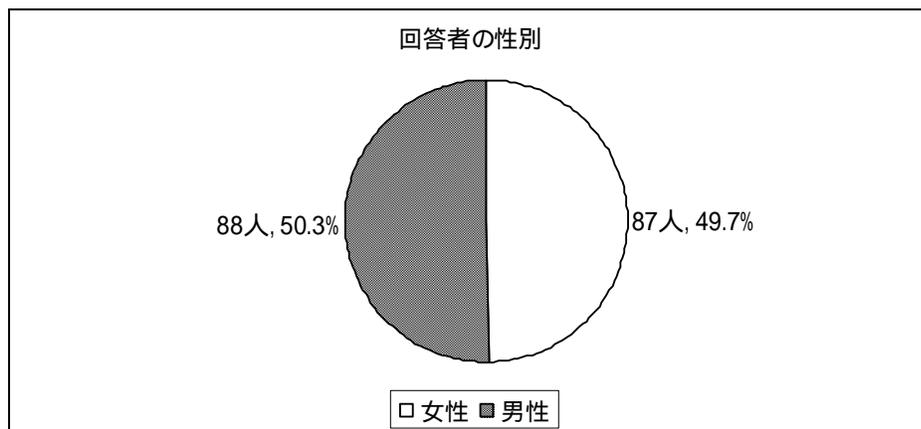


図2 回答者の職種

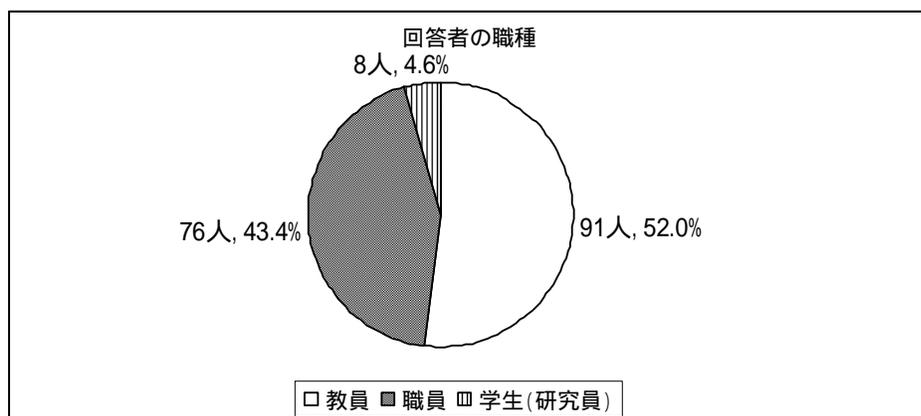
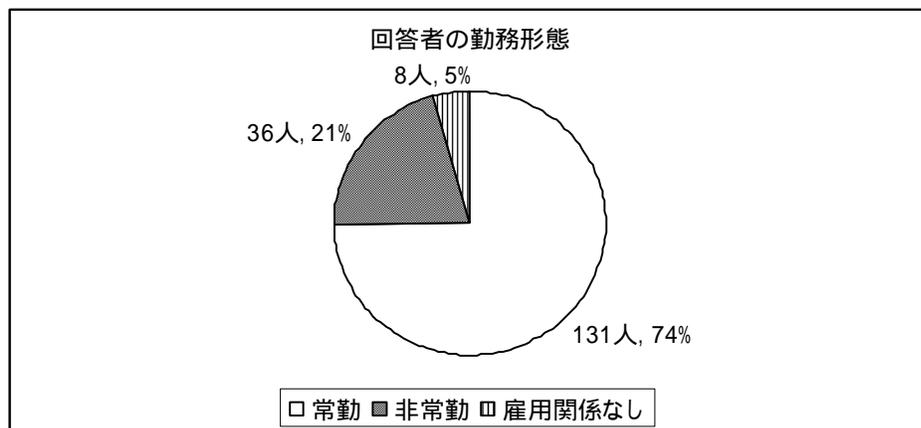


図3 回答者の勤務形態



【問1】 一時預かり保育利用希望の有無

一時預かりの希望者は、全体では115人(65.7%)が利用を希望していた(図4)。利用希望者の内訳は女性54人、男性61人(図5)、職種は教員72人、職員40人、学生等3人(図6)、職種は常勤92人、非常勤20人、雇用関係なし3人(図7)であった。

図4 一時預かり保育利用希望の有無(全体)

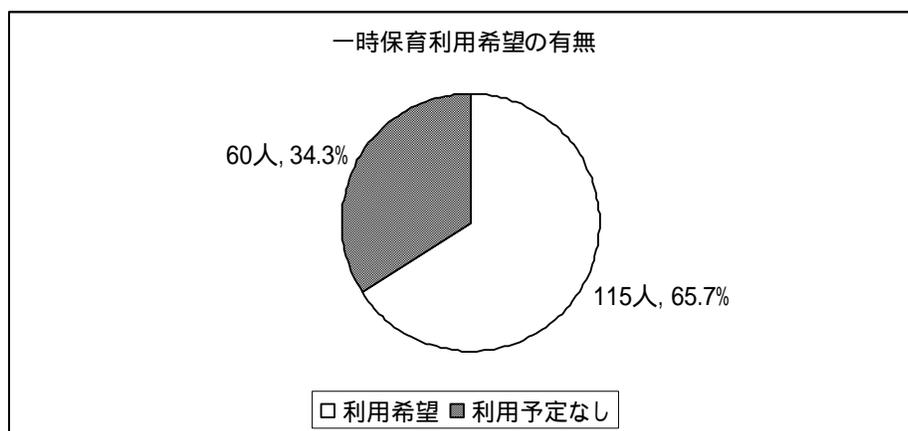


図5 一時預かり保育利用希望者の属性(性別)

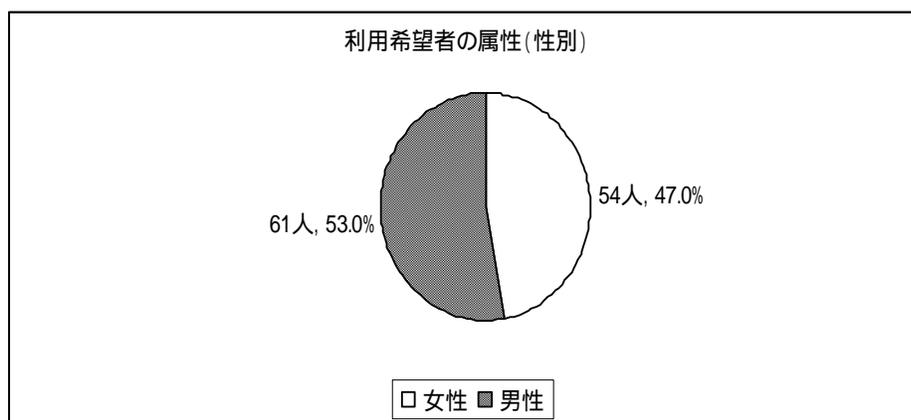


図6 利用希望者の属性(職種)

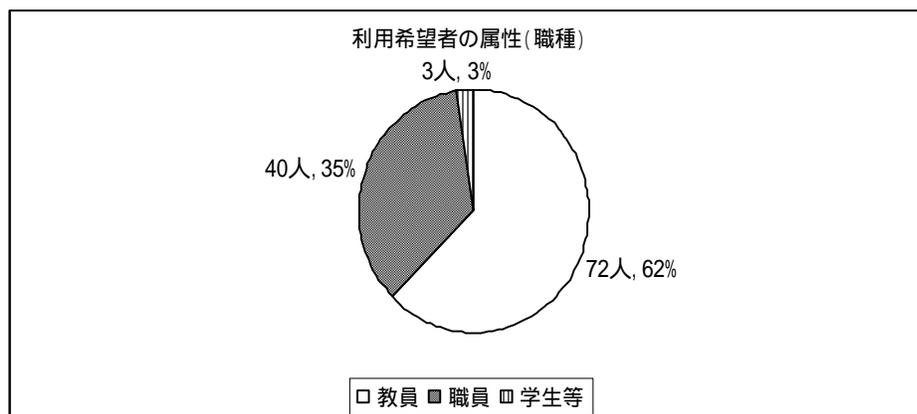
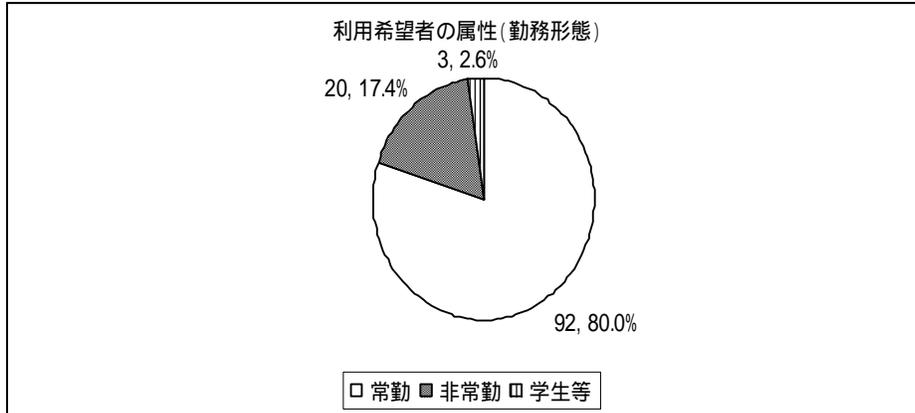


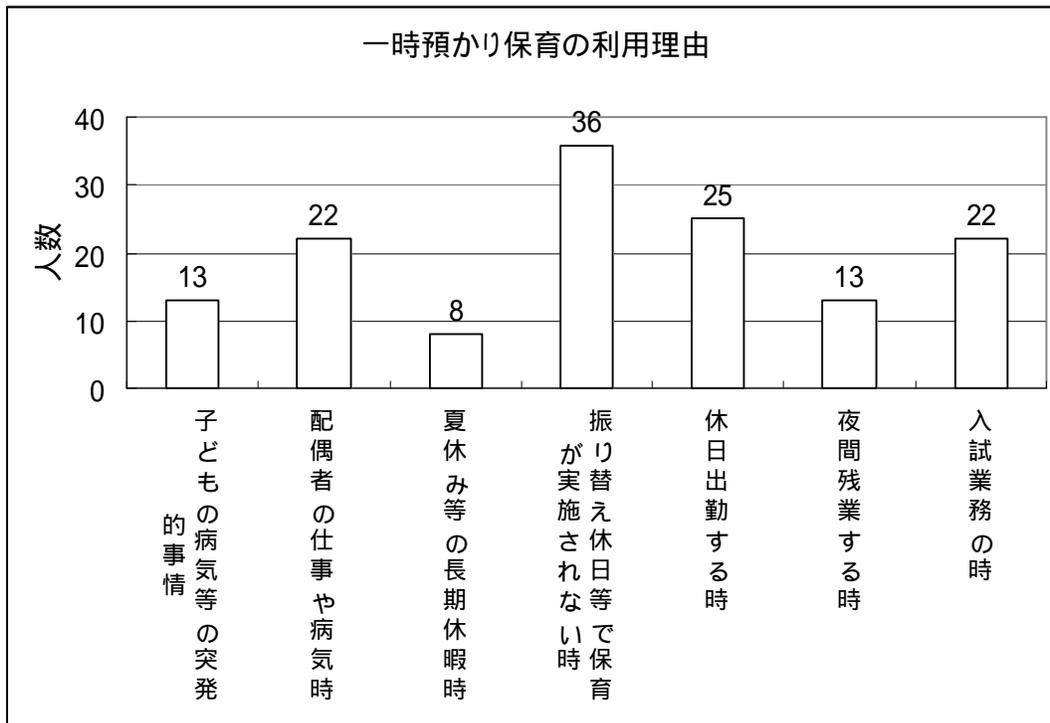
図7 利用希望者の属性（勤務形態）



【問1 - 副問】一時預かり保育の利用理由

自由に回答してもらった結果をまとめたのが図8である。最も多いのが「振り替え休日等で保育が実施されない場合」(36人)が最も多く、次に「休日出勤」(25人)「入試業務の際の出勤」や「配偶者の事情」による(22人)がつづく。

図8 一時預かり保育の利用理由



【問2】利用を希望する子どもの数と年齢

利用を希望する子どもの数は1人(69人)、2人(40人)が多く、子どもの年齢は、未就学児が多い(図10)。

図9 利用希望の子どもの数

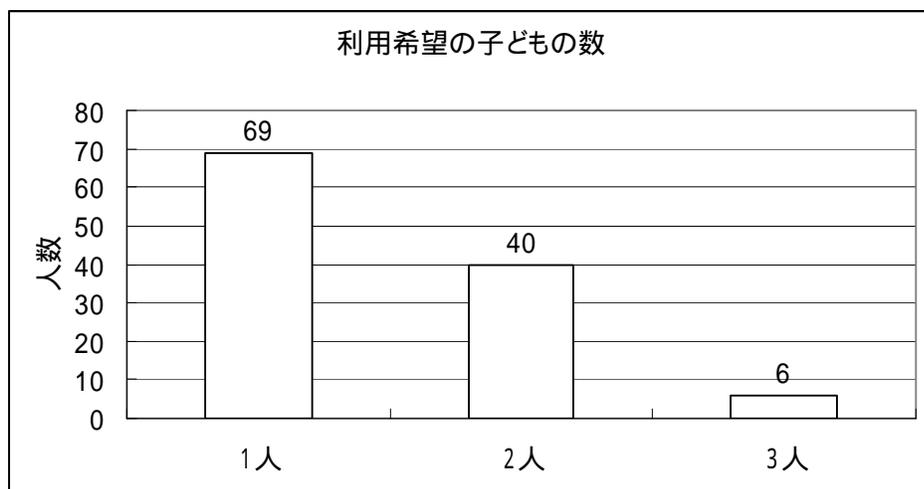
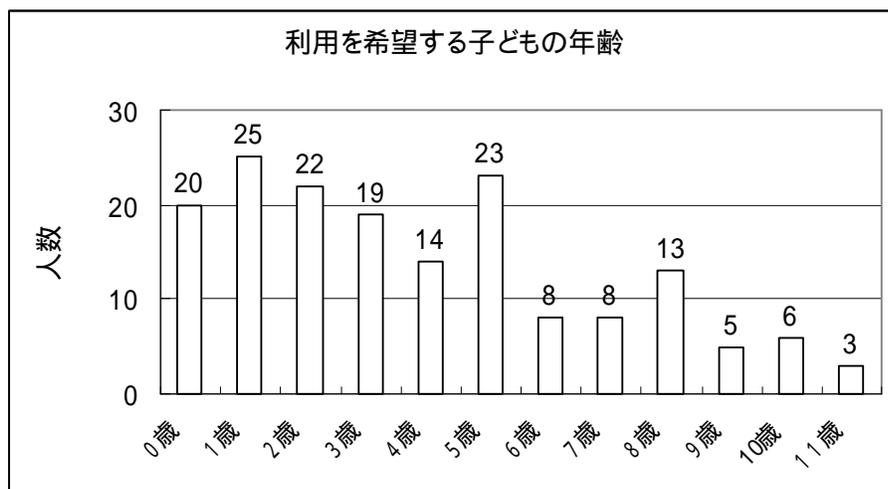


図10 利用希望の子どもの年齢



【問3】希望の保育開始時間と終了時間

希望保育開始時間は9時(43人)または8時(42人)が多い(図11)。終了時間は5時(42人)、6時(42人)が多いが、7時または8時くらいまでの開所を望む者も一定程度いる(図12)。

図11 希望保育開始時間

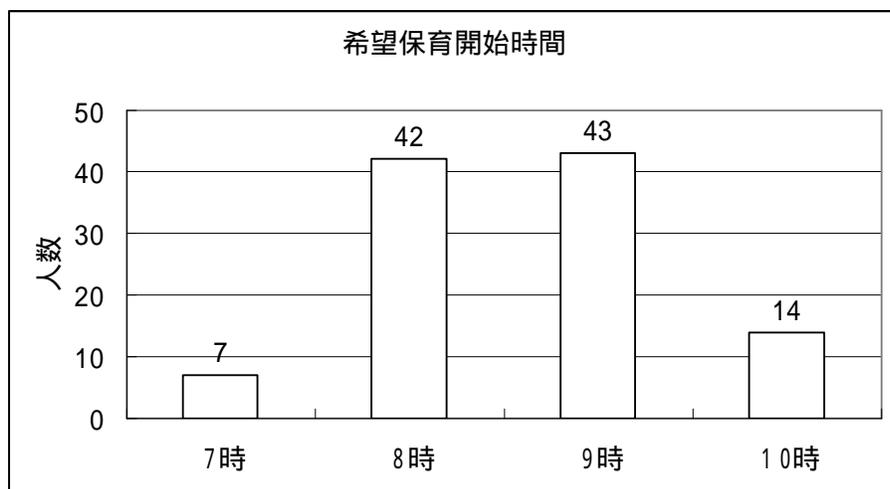
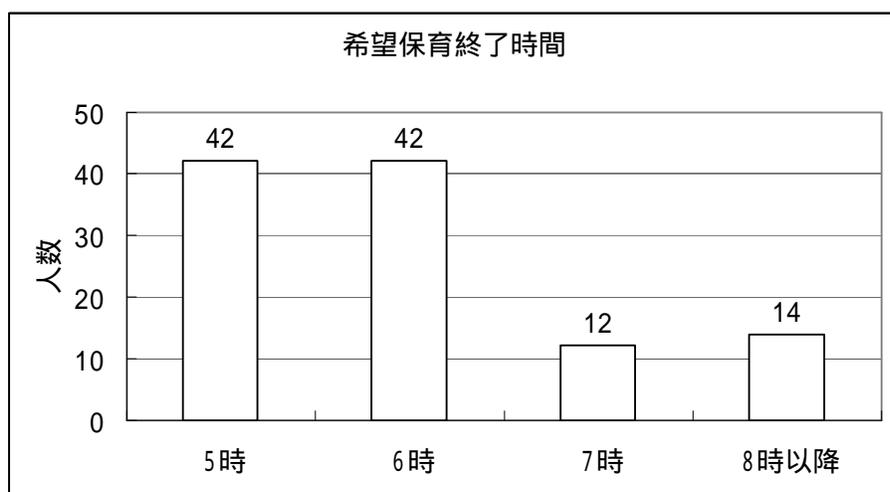


図12 希望保育終了時間



【問4】1時間あたりの利用金について

乳幼児については図12、学童については図13の通りである。どちらも500円以下を希望する人数が最も多い。乳幼児については、1000円以下であれば、学童については500円以下であれば概ね許容範囲のようである。

図12 1時間あたり利用料金（乳幼児）

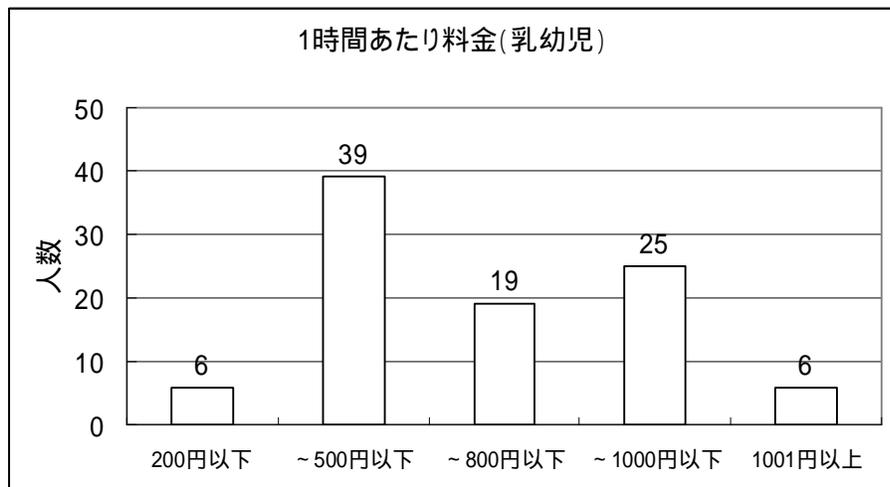
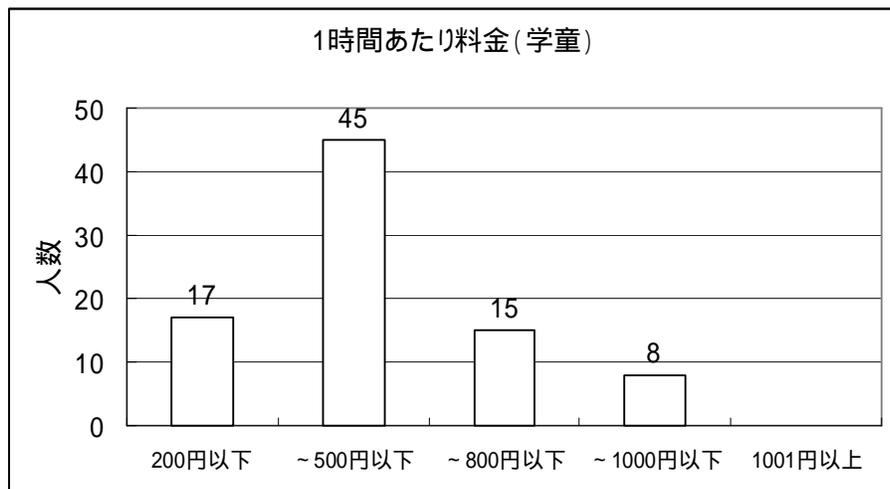


図13 1時間あたり利用料金（学童）



【自由記述】(一部抜粋)

・土日に出勤する際、子供の預け先が一番頭の痛い問題なので一時預かりは大変助かります。小学校の夏休みに合わせた短期集中保育を検討していただくと嬉しいです。

・現在、フルタイムの共働き中のため保育園を利用しています。そのため、平常時に一時保育を利用することは少ないと思いますが、突発的な事象が発生したときにサポートしてくれるサービスという意味では、是非とも病児保育・病後保育の可能性を検討して頂きたいと思います。

・大学に保育施設を作る場合、それを利用することができる教職員や学生と、自宅との距離などの理由により利用できない人が出てくると思う。利用料金などが大学外施設と極端に異なると不公平感が出てくると思うので、その点、注意が必要である。大学近辺に居住していない場合、自宅近辺にて自腹で保育施設を利用している方が大半である。病児保育なども同様。税金を投入して保育施設を作るのであれば、ニーズが非常に高いことを確認してから実施してください。

・学内で開催される学会、研究会の時に、保育ルームを設置することを推奨してほしい。また、日曜日に地域のこどもを対象に、親子で参加できるイベント、セミナー、きっずクラブ等を開催してはどうか。

・0歳児を預かってもらえる保育所(一時保育)が少ないので、0歳児の保育サービスが出来ると助かると思います。

・年度雇いの非常勤の場合、復帰するには再就職となるがその際「求職中」扱いのため、認可保育所に入所できない。通常保育の保育所があれば、キャリアの中断は避けられる。

・大学の福利厚生の一部として、安く利用できるとよいとおもいます。

・告知時は、分かり易い具体的な事例付きで告知する必要があると思います。新しい取り組みの多くは告知の失敗により実績が上がらず有用なシステムであるにも関わらず、定着しない例が多いと思われれます。

・院生で0歳と2歳の子供がおります。子どもを学内に連れてくることありますが、授乳室やオムツ替えのできる多目的トイレのような環境が全くないので、いわゆる「あかちゃんルーム」のような施設もしくは松蔭女子学院大学内にある「まつぼっくり」のような保育サービスがあれば、ぜひ利用したいと思います。

・神戸市は学童保育が3年生までですので、4～6年生こそ切実な問題です。通常の保育業者による乳幼児対象サービスだけでなく、子ども会活動など経験した学生バイトなどによる学習支援やスポーツ、遊びなど4～6年生に見合うサービスもあると助かります。

・小学校の子供は遊び場があるだけで、あとは何かケガや問題があったときにご対応してもらえれば十分だと思います。あまりコストが高いと利用できなくなってしまうので、ぜひ手頃な価格で実現してもらえれば幸いです。せっかく大学でやるのであれば、大学のキャンパス探検など、特殊なイベントがあると非常によいと思います。